

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名：山梨県

農業委員会名：富士吉田市農業委員会

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和2 年 7 月 15 日

任期満了年月日 令和5 年 7 月 14 日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	14	14
認定農業者	—	5
認定農業者に準ずる者	—	
女性	—	2
40代以下	—	
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	6	6	6

2 農家・農地等の概要

経営体数		農業者数(人)		経営体数(経営体)	
総農家数	687	基幹的農業従事者数	80	認定農業者	20
農業経営体数	98	女性	22	基本構想水準到達者	
※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		40代以下		認定新規就農者	1
		※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入		農業参入法人	
				集落営農経営	
				特定農業団体	
				集落営農組織	

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	183	21				204

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

Ⅱ 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	204 ha	46.0 ha	22.5 %
課題	担い手の減少、高齢化による耕作放棄地の増加、地形要因による少ない農地面積等が本市の農業の大きな課題。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	5 年度	集積率	46.0 %
今年度の新規集積面積	24.0 ha	農地面積(C)	204 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	70.0 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	34.3 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	13 ha	ha	13 ha
課題	遊休農地がないため、新たに遊休農地を発生させないことを目標とする。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	0 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	0 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	13 ha
--------------------------	-------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	市農林課等の関係機関へ遊休農地の状況や解消方法に関する情報収集・意見交換を行い、各地域の基盤整備事業等の予定や利用意向調査の結果を踏まえて、遊休農地解消に向けた工程表を策定する。
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	ha
---------------------------	----

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者	令和2年度新規参入者	令和3年度新規参入者
	1 経営体	5 経営体	1 経営体
	0.3 ha	1.3 ha	0.5 ha
課題	担い手の減少、高齢化等による耕作放棄地の増加、地形要因による少ない農地面積が優良農地の確保、農地の有効活用を図る上で大きな課題となっている。こういった状況のため当地域では、耕作する農地が分散し作業の効率が低下しており、早急に対策を講じ、新規の農業経営者の参入促進を図る必要がある。		

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	9.0 ha	11.6 ha	16.6 ha	12.4 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積	1.3 ha			

※1 過去3年間の権利移動面積は、農地法(昭和27年法律第229号)第3条第1項に基づく許可及び農業経営基盤強化促進法第19条に基づき公告された農用地利用集積計画による権利移動面積(有償所有権移転(所有権に基づいて耕作の事業に供していたものに限る。)及び賃借権の設定並びに利用権の設定に限る。)を記入

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	14 人
		農地利用最適化推進委員の人数	6 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回
-------------	-----

取組時期	取組項目	強化月間の内容
9月	農地の集積	各担当区域で推進委委員等による戸別訪問を行い、規模拡大等の意向の把握を行い、担い手への農地の集積・集約化を図る。
10月	新規参入の促進	富士吉田市が実施する農業まつりに就農・営農ブースを設置し、推進委員等が相談対応を行う。
1月	遊休農地の解消	利用状況調査の結果、緑区分の遊休農地として判断された農地について、再度見回りを行い、解消が行われたか確認を行う。

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	1 回
---------------	-----

開催時期	令和4年10月	相談会名	ふじよしだし農業まつり
参加者数	20	開催場所	富士山アリーナ
相談会の内容	相談ブースを設置し、農業委員14名、推進委員6名が市内への就農希望相談があった場合に地域の農業の状況等を説明する。		
開催時期		相談会名	
参加者数		開催場所	
相談会の内容			

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)